SONY

3-864-896-**01**(1)

カセットプレーヤー

取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WM-WE01 WALKMAN

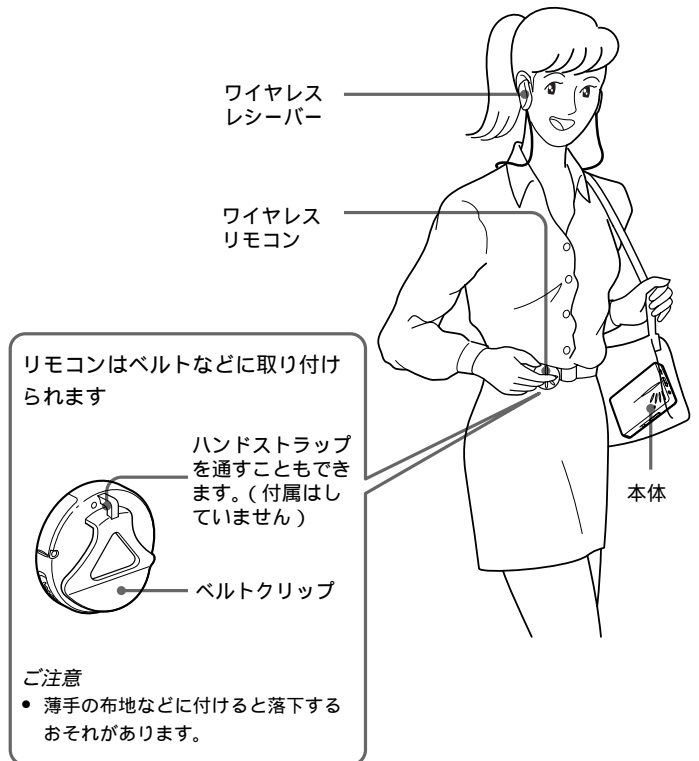
WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。
WALKMAN is a registered trademark of Sony Corporation.

Sony Corporation ©1999 Printed in Japan この説明書は再生紙を使用しています。

主な特長

- **ワイヤレスウォークマン**。
- 手元で操作できる**ワイヤレスリモコン**。
- 本体は充電式電池とアルカリ乾電池（別売り）の併用で約30時間再生できる、**スタミナタイプ**。
- 16倍速の高速サーチで、前後3曲の頭出しをするAMS。
- お気に入りの曲を繰り返し聞ける**1曲リピート**。
- より進んだ音もれ対策－**快適音量**AVLS。

使用例

リモコン、レシーバー（ヘッドホン）、本体がそれぞれワイヤレスになっているので、持ち歩きかたは自由に選べます。
（裏面「使用上のご注意」の「ワイヤレスレシーバー・ワイヤレスリモコンについて」もご参照ください。）

ご注意
- 薄手の布地などに付けると落下するおそれがあります。

Sony online http://www.world.sony.com/
「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

準備する A

安全のために

⚠危険
- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電池ケースに入れてください。ケースに入れずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の＋と－がショートし、発熱することがあります。
- 乾電池や乾電池ケースはコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の＋と－、または乾電池ケースの端子が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

付属品を確かめる

- **ワイヤレスレシーバー（レシーバー）**

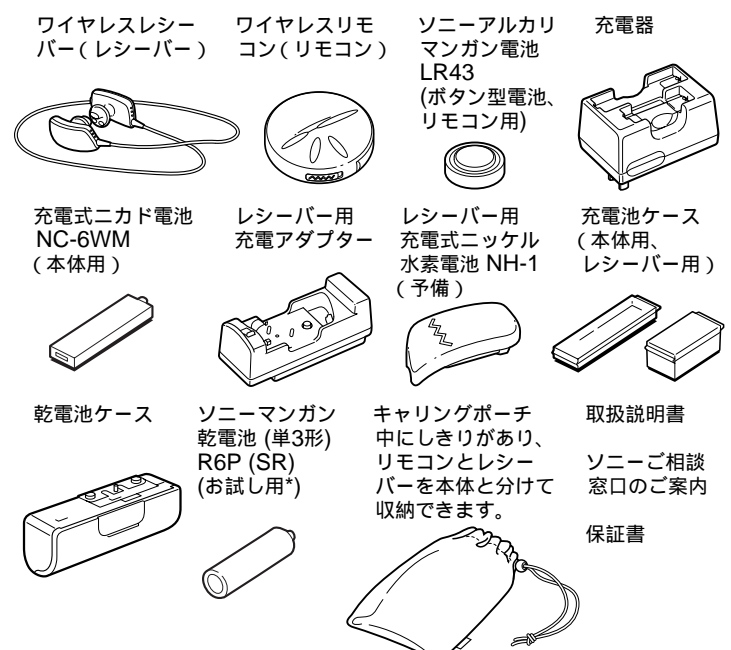
- **ワイヤレスリモコン（リモコン）**

- **ソニーアルカリマンガン電池** LR43 **(ボタン型電池、リモコン用)**
- **充電器**

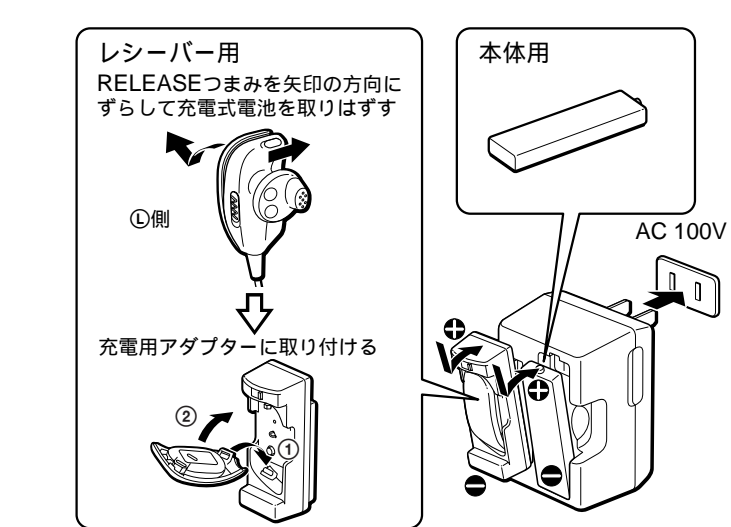
- **充電式ニカド電池** NC-6WM **（本体用）**

- **レシーバー用充電アダプター**

- **レシーバー用充電式ニッケル水素電池** NH-1 **（予備）**
- **充電池ケース（本体用、レシーバー用）**
- **乾電池ケース**
- **ソニーマンガン乾電池 (単3形)** R6P (SR) **(お試し用*)**
- **キャリングポーチ** 中にしきりがあり、リモコンとレシーバーを本体と分けて収納できます。

- **取扱説明書**
- **ソニーご相談窓口のご案内**
- **保証書**

* 付属のマンガン乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本体用、レシーバー用、リモコン用それぞれに電池が必要です。
お買い上げ時には、まず充電式電池（本体用およびレシーバー用）を充電してください。（本体は乾電池でも使えます。）

1 充電式電池（本体用、レシーバー用）を充電する

充電時間（常温にて）
- レシーバー用—約5時間
- 本体用—約3時間

ご注意
- レシーバー用の電池の充電時間は周囲の温度により変わります。気温5℃以下の場所では充分に充電されない場合があります。

充電式電池は約300回充電できます。

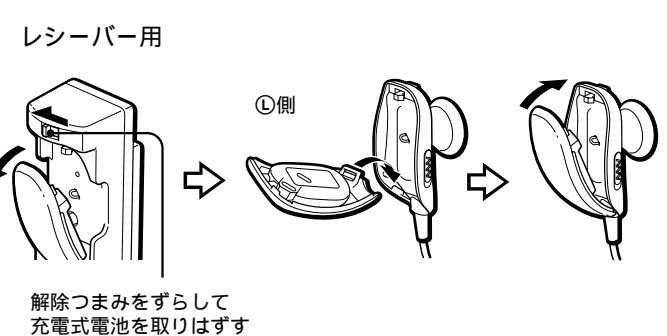
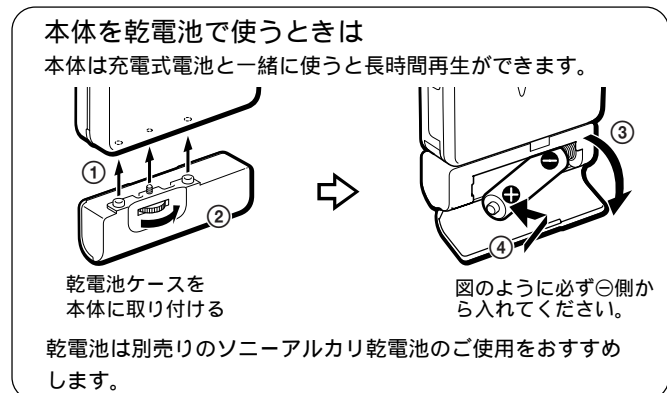
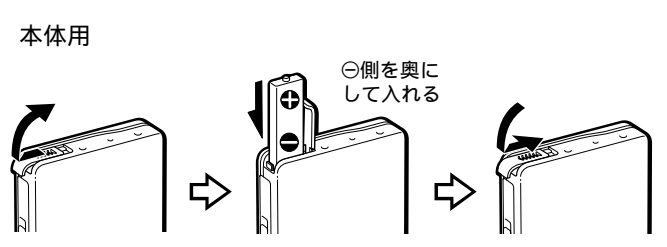
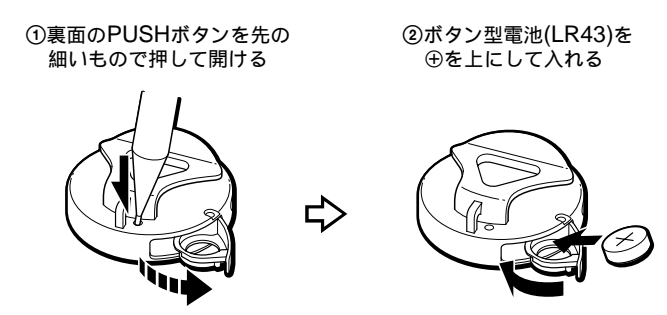
2 充電の終わった電池を入れる

本体用

本体を乾電池で使うときは

本体は充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。

乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

レシーバー用

3 リモコンに電池（付属）を入れる

⚠警告
- ボタン型電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

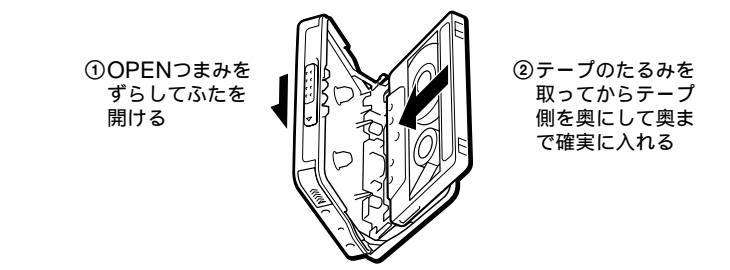
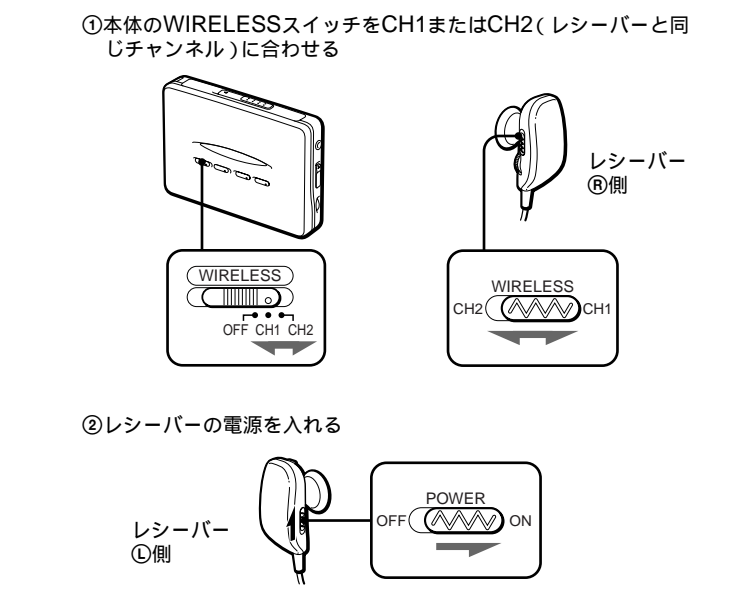
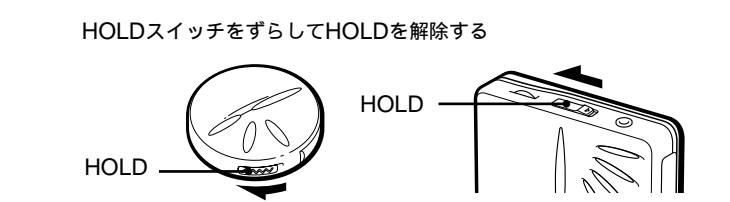
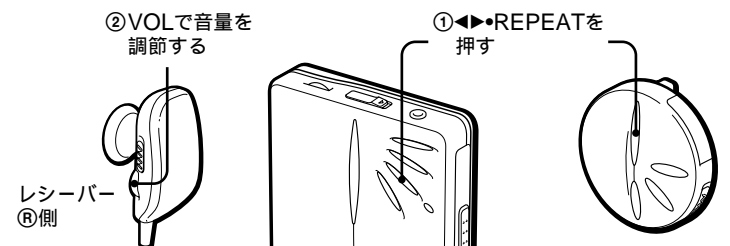
テープを聞く B

TYPE I (ノーマル)、TYPE II (ハイポジション)、TYPE IV (メタル) のテープを自動的に判別し、再生します（オートテープセレクター機能）。

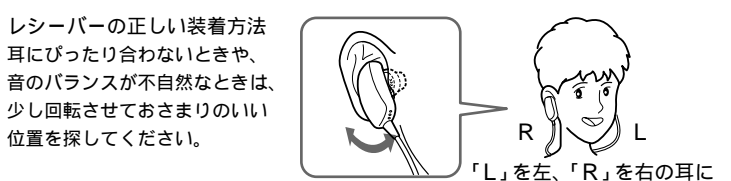
1 カセットを入れる

2 ワイヤレス機能を働かせる

①本体のWIRELESSスイッチをCH1またはCH2（レシーバーと同じチャンネル）に合わせる

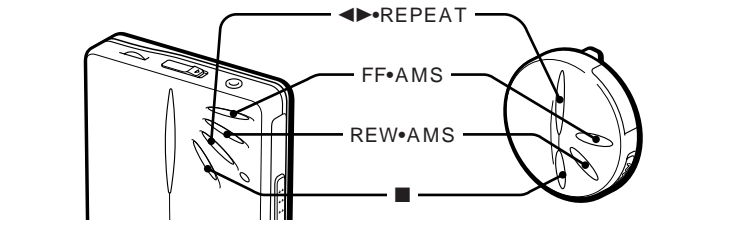
②レシーバーの電源を入れる

3 ホールドを解除する

HOLDスイッチをずらしてHOLDを解除する

4 再生する

ご注意
- 本体のVOLつまみをまわしてもレシーバーの音量は調節できません。
- レシーバーの音量は最小にしてもしぼりきることはできません。

レシーバーの正しい装着方法
耳にぴったり合わないときや、音のバランスが不自然なときは、少し回転させておさまりのいい位置を探してください。

R L
「L」を左、「R」を右の耳に

ワイヤレス機能についてのご注意

- レシーバーおよびリモコンは本体から約1m以内の距離でお使いください。
- 本体のWIRELESSスイッチがOFFになっていると、レシーバーおよびリモコンは使えません。

その他のテープ操作

◀▶•REPEAT
FF•AMS
REW•AMS
■

操作	押すボタン	動作の確認音*
再生**	◀▶•REPEAT	ふた側(FWD)の面スタート: ピ 本体側(REV)の面スタート: ピピ
再生面の切り換え**	再生中に◀▶•REPEAT	ふた側(FWD)の面スタート: ピ 本体側(REV)の面スタート: ピピ
停止	■	ピ
早送り***	停止中にFF•AMS	ピ
巻き戻し***	停止中にREW•AMS	ピ
早送りして反対面を再生（スキップリバース）	停止中にFF•AMSを2秒以上	ピ→ピ→ピ、ピ、…
巻き戻して最初から再生（オートプレイ）	停止中にREW•AMSを2秒以上	ピ→ピ→ピピ、ピピ、…

* リモコンでの操作時は、リモコン信号受付音（「ピ」）の後に続いて上記の確認音が聞こえます。（スキップリバースとオートプレイは除く）

** FWD面から再生を始めたときは、テープが終わりまでくると、自動的に反対面を再生し、終わったあと停止します。
（REV面から再生を始めると、REV面のみ再生したあと停止します。）

*** 早送り・巻き戻し時は、テープが終わりまでくると、自動的に停止します。

上記以外のテープ操作は、「テープを聞く—応用」をご覧ください。

カセットぶたを開けるときは、テープが停止していることを確認してください。動作中にカセットぶたを開けると、テープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。

ご使用後は

必ずレシーバーⓁ側のPOWERスイッチをOFFにしてください。

ご注意
- テープが停止した状態で1分経過すると、本体のワイヤレス機能が停止するため、レシーバーの電源が入っていると雑音が聞こえます。
  テープ操作をやめる場合は、レシーバーのPOWERスイッチをOFFにしてください。
  操作を続ける場合は、本体またはリモコンのボタンを押して、再び本体のワイヤレス機能を働かせます。
- 電池の消耗をふせぐため、レシーバーのPOWERスイッチと本体のWIRELESSスイッチは使い終わるたびにOFFにすることをおすすめします。

▶テープを聞く—応用

ワイヤレスレシーバー・リモコン使用時のご注意 C

レシーバーで聞こえる再生音が混信したら

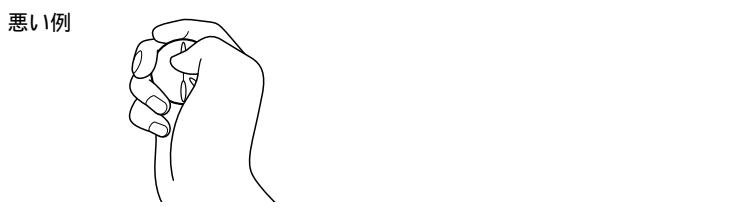
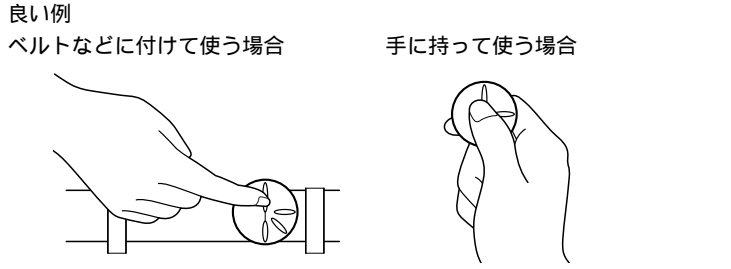
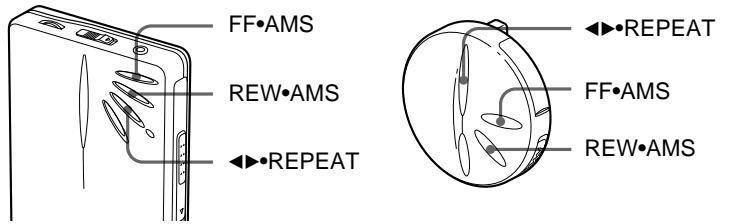
本体とレシーバーⓇ側両方のWIRELESSスイッチでチャンネル（CH1またはCH2）を切り換えてください。（本体とレシーバーは必ず同じチャンネルに合わせてください。）

リモコンの持ちかたについて

手に持って使う場合は、リモコンの左半分は覆わないように注意してください。

良い例

ベルトなどに付けて使う場合　　手に持って使う場合

悪い例

いろいろな聞きかたをする D

❒ 聞いている曲を繰り返し再生する（1曲リピート）

操作	押すボタン	動作の確認音*
聞いている曲を繰り返し再生(1曲リピート)	再生中に◀▶•REPEATを2秒以上(解除するにはもう1度押す)	ボタンを押したときと巻き戻し中にピピーピ (巻き戻し中は繰り返す)

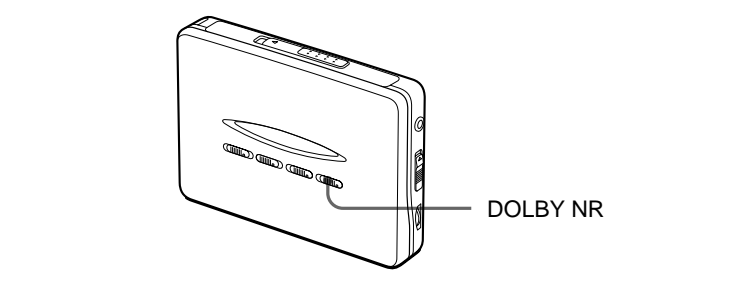
❒ 好きな曲を頭出しする（AMS—オートミュージックセンサー）

再生中にFF•AMSまたはREW•AMSを、とばしたい曲の数だけ押します。
最大3曲までとばすことができます。

操作	押すボタン	動作の確認音*
早送りして何曲か**先の曲を再生	再生中にFF•AMSをとばしたい曲数押す	ピ→あと3曲：ピッピーピーピー、… あと2曲：ピッピーピー、… あと1曲：ピッピー、…
巻き戻して何曲か**前の曲を再生	再生中にREW•AMSをとばしたい曲数押す	ピ→あと2曲：ピピッピーピーピー、… あと1曲：ピピッピーピー、… この曲：ピピッピー、…

* リモコンでの操作時は、リモコン信号受付音（「ピ」）の後に続いて上記の確認音が聞こえます。

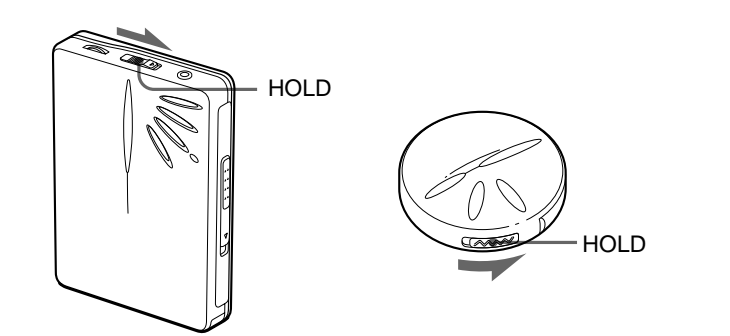
**3曲先、2曲前までとばすことができます。

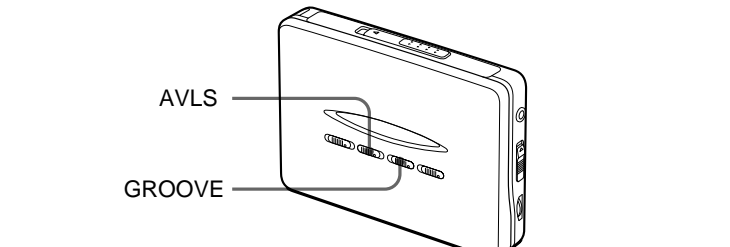
AMS、1曲リピートが正しく動作しないことがあります
- AMSや1曲リピート機能では曲間の4秒以上のあき（無音部分）を見つけて頭出しをしています。あきが4秒未満のときや曲間に雑音があるとき、曲の直前や直後にボタンを押したときは、頭出しができないことがあります。また、曲中に音の小さい部分や長い無音部分があると、そこで頭出しをすることがあります。
- AMSや1曲リピートの途中で停止することがありますが、故障ではありません。詳しくは「故障かな？」をご覧ください。

❒ ドルビー* B NRで録音したテープを聞く

本体のDOLBY NRスイッチをONにします。録音の特性にあわせた再生ができます。ドルビーB NRを使わずに録音したテープの場合にはOFFにします。

* ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号ꟷはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

▶その他の機能を使う

誤操作を防ぐ（ホールド機能）E

本体またはリモコンのHOLDスイッチを矢印の方向にずらして、それぞれの誤操作を防ぎます。

好みの音に調節する F

❒ 低音を強調する (GROOVE)

本体のGROOVEスイッチをONにします。
低音を強調しないときはGROOVEスイッチをOFFにします。

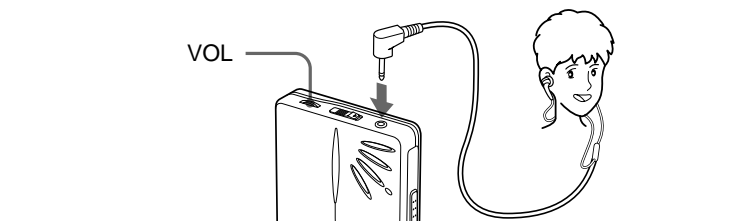
GROOVEにしたときに音がひずんだように聞こえる曲では、GROOVEスイッチをOFFにして通常の音質でお聞きください。

ご注意
- テープの録音状態によっては、GROOVE効果が出にくい場合があります。

❒ 音もれを抑え耳にやさしい音にする（AVLS—オート・ボリューム・リミッター・システム—快適音量）

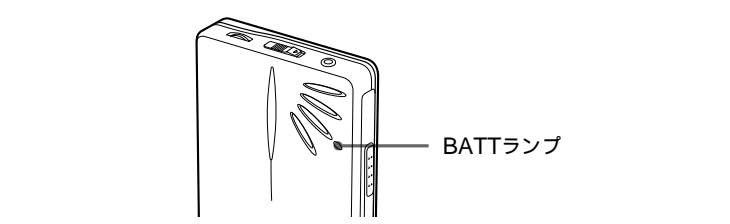
本体のAVLSスイッチをLIMITにします。

AVLSを解除するには、AVLSスイッチをNORMにします。

別売りのヘッドホンで聞く G

別売りのヘッドホンを、本体のΩ(ヘッドホン)ジャックにさし込みます。
音量は本体のVOLつまみで調節します。
別売りのヘッドホンを使っている間も、ワイヤレスリモコンで操作できます。本体のWIRELESSスイッチをCH1またはCH2に合わせてください(OFFになっているとワイヤレスリモコンの操作を受けつけません)。

ご注意
- 別売りのヘッドホンを使っている間は、ワイヤレスレシーバーで聞くことはできません。

▶電源

乾電池•充電式電池の取り替え時期は

本体の電池が消耗すると、本体のBATTランプが消え、テープ走行が不安定になったり、雑音が多くなったあと、自動的にテープは停止します。
レシーバーの充電池が消耗すると、音が小さくなったり、聞こえなくなったりします。
リモコンの電池が消耗すると、操作できる距離が短くなります。

乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電し直してください。
乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

ご注意
- 100%充電されていない充電式電池を入れても、BATTランプが点灯することがありますが、充電量（充電時間）が少なければ、持続時間は短くなります。
- 極端に温度が低い場所で使用しているときは、電池が消耗していないのにBATTランプが消えてしまうことがあります。

本体の電池持続時間 (テープ再生時) (EIAJ*)

使用電池	ワイヤレスレシーバー使用時	別売りのヘッドホン使用時
充電式ニカド電池NC-6WM (100%充電にて)	約8時間	約8時間
ソニーアルカリ乾電池LR6 (WM)	約24時間	約26時間
充電式ニカド電池とソニーアルカリ乾電池の併用	約30時間	約32時間

ワイヤレスレシーバーの電池持続時間 (EIAJ*)

使用電池	テープ再生時
充電式ニッケル水素電池NH-1 (100%充電にて)	約5時間

* EIAJ (日本電子機械工業会)規格による測定値です。(ソニーHFシリーズカセットテープ使用)

ワイヤレスリモコンの電池持続時間

使用電池	持続時間**
ソニーアルカリマンガン電池LR43	約1年

**1日12回程度ボタンを押し、毎日使用した場合

ご注意
- 電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。
- 付属のマンガン乾電池はお試し用です。マンガン乾電池でご使用になると、AMSや1曲リピート中などに停止してしまう場合があります。

▶その他

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、別売りのクリーニングカセット(CHK-1W)でヘッド、ピンチローラーをきれいにしてください。

クリーニングカセットは指定のものをお使いください
他のクリーニングカセットを使うと故障の原因となることがあります。

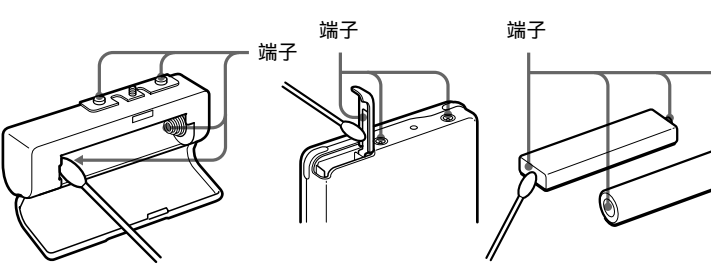
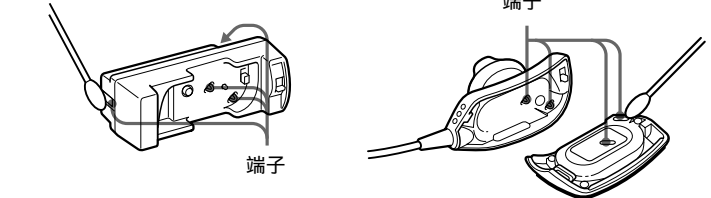
本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

ヘッドホンのプラグのお手入れについて（別売りのヘッドホンをお使いの場合）

常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音の原因になることがあります。

端子のお手入れについて

定期的に図の各端子や充電器などの端子を綿棒や柔らかい布などで、きれいにしてください。

使用上のご注意

充電について

- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池は、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- 充電が終わったら、早めに充電器をコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- 充電中は充電器や充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。

日本国内での充電式電池の廃棄について

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

この製品は、ニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

海外での充電式電池の廃棄について
各国の法規制にしたがって廃棄してください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- レシーバーのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  ー温度が非常に高いところ(60℃以上)。
  ー直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  ー窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  ー風呂場など湿気の多いところ。
  ー磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  ーほこりの多いところ。
- 長い間本機を使わなかったときは、一度本機を数分間再生状態にしてからお使い始めください。
- 動作中はカセットぶたを開けないでください。テープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。テープがたるんでしまったときは、必ずたるみを取ってから使用してください。
- 長時間テープについて
  90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。
- 付属のレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターにご相談ください。

ヘッドホン(レシーバー)について

- 付属のヘッドホン(レシーバー)は、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

ワイヤレスレシーバー・ワイヤレスリモコンについて

本体とワイヤレスレシーバー、ワイヤレスリモコンの間では次のようなやりとりをしています。
(1) リモコンから本体へ操作指示を送る
(2) 本体からレシーバーへ再生音と動作情報を送る
電波でやりとりしていますので、ご使用の際には次のことにご注意ください。

- **飛行機内では、通信電波などを乱すおそれがありますので、ワイヤレスレシーバーおよびリモコンは使用しないでください。**
  必ず本体のWIRELESSスイッチとレシーバーのPOWERスイッチをOFFにし、リモコンはHOLDスイッチを矢印の方向にずらしておいてください。
  テープを聞く場合は、別売りのコード付きヘッドホンを本体につなぎ、本体のみで操作してお使いください。（ただし、離着陸時など電子機器の使用が制限されている場合は使用しないでください。）
- 金属物に近づけないでください。また、金属ラベルのテープは使わないでください。受信の感度が悪くなり、雑音が入ったり、音が悪くなったりします。
- レシーバーやリモコンの近くに物を近づけないでください。受信状態が悪くなったり、操作距離が短くなることがあります。
- 本体とレシーバー、リモコンは約1m以内の距離でお使いください。
- 次のような所では、受信状態が悪くなることがありますので、本体とレシーバー、リモコンを近づけてお使いください。
  ーコンピューター、ワープロ周辺の電気ノイズの大きい所。
  ーテレビ塔、ラジオ塔の近くなど電波の強い所。
  ー車内、電車内。
  ーラジオやワイヤレスウォークマンを聞いている人の近く。
- 受信状態が悪いときや雑音の多いとき、または操作できないときは、本体、レシーバーおよびリモコンの向きや位置または持ちかたを変えてみてください。
- レシーバーのコードはたばねず、のばしてお使いください。

付属のワイヤレスレシーバー、ワイヤレスリモコンは本機専用です。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。その際、必ず本体とレシーバー、リモコンのすべてをお持ちください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
AMS、1曲**リピートや早送り・巻き戻しをするとテープが止まる**	**消耗した充電式電池または乾電池を使っている。マンガン乾電池を使っている(AMSや1曲リピートなどは再生と比べて電流を多く消費するためです)**	**充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する**
テープ操作ができない	カセットが入っていない	カセットを入れる
	本体またはリモコンのホールド機能が働いている	ホールドを解除する
雑音が入る	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している	携帯電話などから離して使用する
音量が大きくならない	AVLSが働いている	AVLSスイッチをNORMに合わせる
ワイヤレスレシーバー使用時に音が途切れる	レシーバーのPOWERスイッチがOFFになっている	レシーバーのPOWERスイッチをONにする
雑音が多い	電池が消耗している	充電式電池は充電し、乾電池は交換する
または	本体に別売りのコード付きヘッドホンをつないでいる	別売りのコード付きヘッドホンを抜く
音が聞こえない	金属物の近くにある	金属物から離す
	本体とレシーバーが離れすぎている	近づける（約1m以内に）
	本体とレシーバーが同じチャンネル(CH)になっていない	同じチャンネル(CH)に合わせる
	他のワイヤレスウォークマンと混信している	本体とレシーバーのCHを変更する
	レシーバーを手や物などでさえぎっている	レシーバーから手や物を離す
	レシーバーの充電式電池の端子が汚れている	端子をきれいにクリーニングする
リモコンで操作できない	本体のWIRELESSスイッチがOFFになっている	WIRELESSスイッチをCH1またはCH2に合わせる
	電池が消耗している	充電式電池は充電し、乾電池は交換する
	他のワイヤレスウォークマンと混信している	他のワイヤレスウォークマンから離して使用する
	金属物の近くにある	金属物から離す
	本体とリモコンが離れすぎている	近づける（約1m以内に）
本体に新しい乾電池を入れた、または充電した充電池を入れたが動作しない	――	いったん取り出してから正しく入れなおす 電池の⊕と⊖の向きを正しく入れる

主な仕様

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲 (EIAJ*)	ワイヤレスレシーバー使用、DOLBY NRスイッチOFF時：30〜15,000 Hz コード付きヘッドホン使用、DOLBY NRスイッチOFF時：20〜18,000 Hz
出力端子	ヘッドホンジャック(ステレオミニジャック)1個 負荷インピーダンス　8〜300 Ω
実用最大出力	ワイヤレスレシーバー：3 mW+3 mW (EIAJ 32 Ω) コード付きヘッドホン(別売り)：4 mW+4 mW (EIAJ 16 Ω)
電源	本体：DC 1.5 V 充電式電池(付属：NC-6WM、1.2 V、600 mAh、Ni-Cd)または単3形乾電池 1本 ワイヤレスレシーバー：DC 1.2 V 充電式電池(付属：NH-1、1.2 V、140 mAh、Ni-MH) ワイヤレスリモコン：DC 1.5 V、ボタン型電池 LR43 1個使用
電池持続時間(EIAJ)	乾電池、充電式電池の持続時間については「電源」をご覧ください。
搬送周波数	CH1：左チャンネル　238.46MHz ：右チャンネル　238.00MHz CH2：左チャンネル　239.61MHz ：右チャンネル　239.15MHz
最大外形寸法	約109.1 × 77.7 × 23.3 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	本体　約145 g ご使用時　約205 g (充電式電池 NC-6WM、テープ C-60HF含む) ワイヤレスレシーバー　約24 g (充電式電池 NH-1含む) ワイヤレスリモコン　約10 g (ボタン型電池 LR43含む)

●別売りアクセサリー
充電式ニカド電池 NC-6WM、クリーニングカセット CHK-1W、ステレオイヤーレシーバー(ヘッドホン) MDR-ED238SP (GROOVE対応)、MDR-E848SP、MDR-EX70SL

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではカセットプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

アフターサービスを依頼するときは

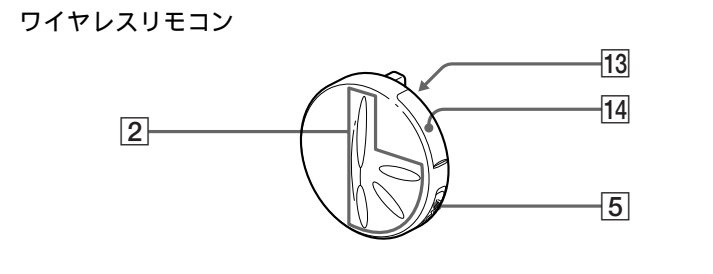
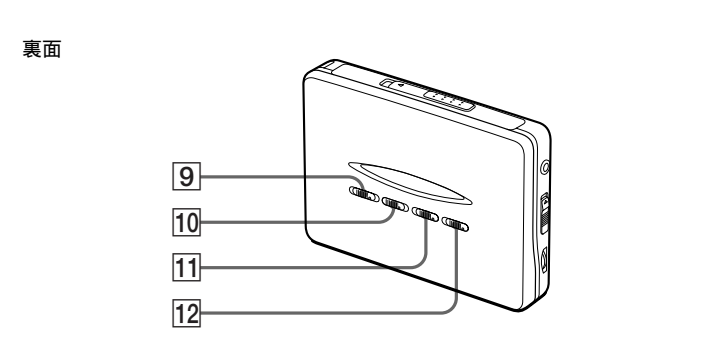
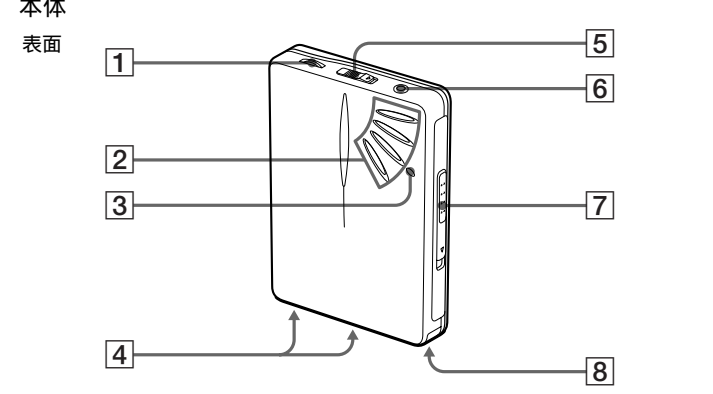
必ず本体とレシーバー、リモコンのすべてをお持ちください。

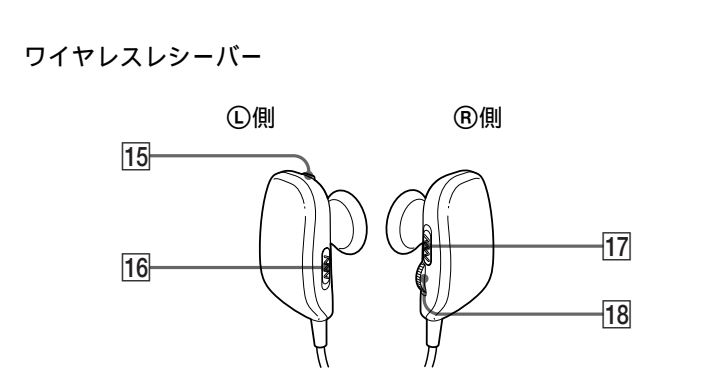
各部のなまえ

●本体

表面

裏面

●ワイヤレスリモコン

1. VOL（音量調節）つまみ（本体用）
2. テープ操作ボタン
   ◀▶•REPEAT：再生•リピート
   ■：停止
   FF•AMS：早送り
   REW•AMS：巻き戻し
3. BATT（電池残量表示）ランプ
4. 乾電池ケース用接点
5. HOLD（誤操作防止）スイッチ
6. ☊(ヘッドホン)ジャック
7. OPEN（カセットぶた開け）つまみ
8. 充電式電池入れ
9. WIRELESS OFF/CH1/CH2スイッチ
10. AVLSスイッチ
11. GROOVEスイッチ
12. DOLBY NRスイッチ
13. PUSHボタン（電池入れ用）
14. 電池入れ

●ワイヤレスレシーバー

15. RELEASE（充電式電池取りはずし）つまみ
16. POWER（電源）ON/OFFスイッチ
17. WIRELESS CH1/CH2スイッチ
18. VOL（音量調節）つまみ（レシーバー用）

As you read, refer to the illustrations in the corresponding Japanese text (labeled A, B, etc.).

▶ *Getting Started*

Preparing Power Sources A

1 Charge the rechargeable batteries (for the main unit and for the wireless receiver).
① **For the main unit:**
Insert the supplied rechargeable battery (NC-6WM) for the main unit to the supplied charger with correct polarity.
For the wireless receiver:
Slide RELEASE on the Ⓛ (left) side of the wireless receiver in the direction of the arrow to detach the rechargeable battery for the receiver.
Attach the battery to the charge adaptor as illustrated and then attach adaptor to the charger with correct polarity.

② Plug in the charger to the house current (mains).
Full-charging takes about 5 hours for the rechargeable battery for the receiver, and 3 hours for the battery for the main unit.
You can charge the batteries about 300 times.

2 **For the main unit:**
Insert the fully charged battery into the rechargeable battery compartment.
For the wireless receiver:
Attach the rechargeable battery to the receiver as illustrated.

To use a dry battery
The main unit can also be powered by a dry battery. Attach the supplied battery case to the Walkman, and then insert one R6 (size AA) battery with correct polarity.

3 Press the PUSH button on the bottom of the remote control with a pointed object to eject the battery compartment. Place one LR43 battery (supplied) with the ⊕ side facing up.

Note
- Certain countries may regulate disposal of batteries used to power this product. Please consult your local authority.

When to Replace/Charge the Battery

For the main unit:
When the battery weakens, the BATT lamp on the main unit will go off. Playback will become unstable and noisy, and then the tape will stop.
For the wireless receiver:
When the rechargeable battery weakens, sound will become weak and then will fade away.
For the remote control:
When the battery weakens, the effective range of the remote control will shorten.

Notes
- When you insert a charged battery, the BATT lamp may light up even if it is not fully charged. But the actual battery life will be shorter.
- The BATT lamp may temporarily go off during use in extremely low temperatures.

Battery life Main unit	(Approx. hours) (EIAJ*)
Rechargeable NC-6WM fully charged	8 (8)
Sony alkaline LR6 (WM)	24 (26)
Rechargeable NC-6WM Sony alkaline LR6 (WM) used together	30 (32)

When using the wireless receiver ( ) when using optional earphones/headphones

For maximum performance we recommend that you use a Sony alkaline battery.

Wireless receiver	(EIAJ)
Rechargeable NH-1 fully charged	5

* Measured value by the standard of EIAJ (Electronic Industries Association of Japan). (Using a Sony HF series cassette tape)

Wireless remote control	
Sony alkaline manganese battery LR43	Approx. 1 year**

**Using the button about 12 times a day everyday.

Note
- The battery life may shorten depending on the operation of the unit.

Precaution

Never use the wireless receiver or the wireless remote control in an airplane since it may cause interference with communication frequencies.
To prevent accidental wireless operation, set WIRELESS on the main unit and POWER on the receiver to OFF, and slide HOLD in the direction of the arrow on the remote control.
To use the Walkman, plug in a set of wired headphones or earphones (not supplied) and operate only from the main unit. Never use the Walkman, even with wired headphones, when use of electronic instruments is prohibited, such as during take-off or landing.

▶ *Operating the Walkman*

Playing a Tape B

1 Open the cassette holder and insert a cassette.

2 Set WIRELESS on the main unit to the same channel (CH1 or CH2) as that on the Ⓡ (right) side of the wireless receiver, and slide POWER on the Ⓛ side of the receiver to ON.

3 Make sure the HOLD function is turned off. If it is on, slide HOLD to turn it off.

4 Press ◀▶(play)•REPEAT and adjust the volume with VOL on the wireless receiver.
If the receiver does not fit to your ears or the sound is unbalanced, adjust the receiver to fit to your ears firmly.

Notes on volume control
- You cannot adjust the volume of the receiver with the VOL control on the main unit.
- Sound from the receiver cannot be turned down all the way.

Notes on wireless operation
- Keep both the receiver and the remote control within about one meter from the main unit.
- The receiver and the remote control cannot be used when the WIRELESS selector on the main unit is set to OFF.

Note on the cassette holder
- When opening the cassette holder on the main unit, make sure the tape is stopped, then slide the OPEN switch. If the cassette holder is opened when the tape is running, the tape may loosen and be damaged.

To	Press
Play the other side*	◀▶•REPEAT during playback
Stop playback	■
Fast forward**	FF•AMS during stop
Rewind**	REW•AMS during stop
Play the other side from the beginning (Skip Reverse function)	FF•AMS 2 seconds or more during stop
Play the same side from the beginning (Rewind Auto Play function)	REW•AMS 2 seconds or more during stop

* When the tape reaches the end while playing the FWD side, playback will switch automatically to the opposite side and stop at the end of that side. (When the tape reaches the end while playing the REV side, playback will stop there.)

**Fast forward/rewind will stop automatically when the tape reaches the end of the side.

When you are finished using the unit

Be sure to set the POWER switch on the Ⓛ side of the wireless receiver to OFF.

Notes
- When the tape has been in the stop mode for a minute, the wireless function of the main unit will be automatically deactivated, and consequently, noise will be heard from the wireless receiver if it is kept on.
  If you are finished using the Walkman, set the POWER switch on the receiver to OFF.
  If you wish to continue operation, press any button on the main unit or the remote control. The wireless function of the main unit will resume automatically.
- To prevent unnecessary wear of the batteries, we recommend that the POWER switch on the receiver and the WIRELESS switch on the main unit be set to OFF every time you finish using the Walkman.

Notes on the Wireless Receiver and Remote Control C

If there is interference in the playback sound from the receiver

Switch the channel on the WIRELESS switches on both the main unit and on the Ⓡ side of the receiver. Be sure to select the same channel (CH1 or CH2) for both switches.

How to hold the remote control

When using the remote control hand-held, be sure not to cover the left half of the control with your hand.

Other Tape Operations D

To	Press
Repeat the current track (Repeat Single Track function)	◀▶•REPEAT 2 seconds or more during playback *To stop a single repeat, press it again.*
Play the next track/succeeding 3 tracks from the beginning (AMS*)	FF•AMS once/repeatedly during playback
Play the current track/previous 2 tracks from the beginning (AMS*)	REW•AMS once/repeatedly during playback

* Automatic Music Sensor

Note on AMS and Repeat Single Track
- To operate the AMS and the Repeat Single Track functions, you need a blank of 4 seconds or longer between the tracks. Therefore, if there is noise between the tracks, these functions will not detect the blank and will not operate. Likewise, if the recording level is moderately low within a track, these functions may inaccurately operate.

To play a tape recorded with the Dolby*B NR system D

Set DOLBY NR (Dolby noise reduction) to ON.

* Dolby noise reduction manufactured under license from Dolby Laboratories Licensing Corporation. "DOLBY" and the double-D symbol ◻◻ are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

Using Other Functions

Locking the Controls —Hold function E

Slide HOLD in the direction of the arrow to lock the controls of the Walkman or the remote control.

Emphasizing the Bass Sound —GROOVE function F

Set GROOVE to ON.
To cancel bass emphasis, set GROOVE to OFF.

If the sound becomes distorted with the GROOVE effect, set GROOVE to OFF.

Note
- GROOVE may not show as much effect with tapes with inferior recording conditions.

Protecting Your Hearing —AVLS (Automatic Volume Limiter System) function F

Set AVLS (Automatic Volume Limiter System) to LIMIT. The maximum volume is kept down to protect your ears, even if you turn the volume up.
To cancel the AVLS function, set AVLS to NORM.

Using the Optional Earphones or Headphones G

Plug in the optional headphones to the ☊ (headphones) jack.
Adjust the volume with VOL on the main unit.
You can operate on the wireless remote control even while using the optional headphones. In this case, set the WIRELESS selector on the main unit to either CH1 or CH2 (The unit does not accept wireless remote control signals when the selector is set to OFF.).

Note
- The wireless receiver will not work when the ☊ jack is plugged in.